ステロイド治療中のリウマチ膠原病患者骨格筋に与える分岐鎖アミノ酸の効果に関する検討

**（タイトル：文字12ポイント、全角50文字以内）**

吉川　賢忠（よしかわ　のりただ）1）、清水　宣明1,2）、江里　俊樹1）、田中　廣壽1,2）

1）東京大学医科学研究所附属病院　アレルギー免疫科、2）同　抗体ワクチンセンター　免疫病治療学分野

**（著者名：文字10ポイント、10名まで、筆頭著者はカッコ内にふりがな）**

【背景・目的】ステロイド（グルココルチコイド）は骨格筋の異化亢進ならびに同化抑制作用を有する。……。そこで、ステロイド筋症に対するBCAAの有効性を検証するため医師主導型臨床試験を実施した。【方法】当院に通院するステロイド治療中（プレドニゾロン 10 mg/日以上）の成人リウマチ膠原病患者18例を対象とした。……。【結果】BCAA投与群でMMT、PSの有意な改善が認められた。両群ともにBIAで上・下肢の筋量増加が認められ、全身筋量はBCAA投与群のみで有意に増加した。……。【考察】ステロイド投与中のリウマチ膠原病患者に対するBCAA投与が筋力や全身状態の改善に有効である可能性が示された。……。

**(本文：文字10ポイント、抄録本文全角700文字以内、半角英数字２文字を全角１文字と換算)**

* **日本ステロイドホルモン学会優秀演題賞　応募　有・無**